

基本理念

RUDY JAPAN は、患者と研究者が協働して研究を進める医学研究である。この新しい研究のあり方を実現するために、以下の理念を策定する。

1. 主体的な意思決定

RUDY JAPAN は、関わるすべての人が意思決定を主体的に行うこと、およびその主体性を発揮できるような仕組みづくりを目指す。

これは、研究参加における個人の意思決定を主体的に行うことのみならず、RUDY JAPAN の運営や個々の研究計画の立案や実施など、研究全体に関わる意思決定に主体的に参加することも含む。

2. 協働的パートナーシップ

RUDY JAPAN は研究を進めていく上で、関わるすべての人が互いに尊重しながら協働的パートナーシップを形成することを目指す。それぞれが置かれた状況に配慮し、それぞれにとって最も適切なパートナーシップのあり方を模索する。そのために、具体的には以下のことに留意する。

- 1) 関わるすべての人の RUDY JAPAN への多様な関わり方を実現すること
- 2) 関わるすべての人が責任を共有すること
- 3) 関わるすべての人が相互の信頼関係を構築すること
- 4) 関わるすべての人に公正な利益を配分すること
- 5) 研究の対象となるコミュニティに公正な利益がもたらされること

3. 参加者の尊重

RUDY JAPAN で行われるすべての研究は、参加者が入力するデータによって新たな知見が生み出される。そのため、研究を進めるにあたって、データを入力する参加者の人権を尊重しなければならない。そのために、具体的には以下のことに留意する。

- 1) 入力されたデータの保護および参加者のプライバシーの保護に努める
- 2) 研究参加後の同意の撤回の自由を担保する
- 3) 研究の成果を参加者に知らせることに努める

4. 社会的価値と科学的妥当性

RUDY JAPAN で行われる研究が、社会的な価値を生み出すことを目指す。

また、RUDY JAPAN で行われる研究が、科学的に妥当であるものを目指す。

これは既に確立された方法を用いることだけを意味するのではなく、できる限りその社会的価値と科学的妥当性を高めるよう努めることを意味する。